

藤岡地域包括支援センター 担当

日 時： 令和7年9月17日（水）午後14時5分～14時30分

会 場： 栃木市役所大平総合支所

事例数： 1 ケース

参加者数： 11 名

事例提供者 1 名、サービス提供事業者 1 名、助言者 6 名、
包括職員 1 名、傍聴者 2 名

小児麻痺により歩行が不安定な上、坐骨神経痛がある 90 歳女性
〈目標〉1 日： 外出の機会を設け、楽しみの多い生活を送ることができる。
1 年： 通所サービスを利用することで気分転換ができる。
利用サービス： 通所リハビリテーション

《生活全般の解決すべき課題》

- ・ 楽しみながら身体機能の向上を図る。
- ・ 外出行事に参加したり、通所を利用することで気分転換ができる。

《助言者からの助言内容》

- ・ 転倒リスクがあるため、転倒しやすい場所があるかどうか住宅環境の見直しを行う。
- ・ 右足の小児麻痺があると左足に負荷がかかることから、左下肢の負担軽減のため、セルフケアができるような支援を行う。
- ・ 内服薬によるふらつき・眠気など、転倒につながる副作用があることを本人家族と共有する。
- ・ 煮物は温め直して塩分濃度が高くなるため、量を減らす。また、短時間で調理できるよう、炒め物や電子レンジの活用など調理方法を工夫する。
- ・ 腎臓に負担をかけないように、水・白湯・麦茶を中心に水分摂取をしっかりと行う。



- ☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）
- ・ 高齢者の趣味に合わせて活用できる集いの場